はっぴー弘済会

第34号

公益財団法人
日本教育公務員弘済会石川支部
株式会社 石川教弘
〒920-0901 金沢市彦三町2丁目1番45号 むさしビル6F
ホームページ
https://www.nikkyoko.or.jp/company/ishikawa/index.html

快挙！

全国表彰式での野田氏（令和7年3月19日、東京・グランドヒル市ヶ谷にて）

学校部門で全国トップ評価！
加賀市立庄小学校!!

当会の「第30回日教弘教育賞」に石川支部推薦として応募した教育実践論文、加賀市立庄小学校（前校長：野田美由紀氏）の『児童は自律した学び手、教員は自走する集団をめざした教育実践～単元内自由進度学習全校実施の取組を通して～』が、応募総数、約2600本の中から、昨年度末、見事、優秀賞を受賞。最優秀賞2編は個人部門の論文であり、学校部門の中では、全国トップの評価を受ける形となりました。

同校は2年前から「子どもが主役の授業」の一環として、児童が自ら立てた計画に沿って自由な場所や媒体で学習する新しい授業スタイル「単元内自由進度学習」に学校全体で取り組んでおり、野田氏がその実践をまとめて応募したものです。

加賀市前教育長・島谷千春氏を表敬訪問　喜びの報告！（令和7年3月24日）

野田氏によると、「自律化した学びをシステム化し、誰が教員として赴任しても継続できるようにした、その高い汎用性が評価された」とのこと。東京での表彰式の場においても、審査委員長の文部科学省視学官から、「是非、全国に広まっていって欲しい研究事例の1つ」と評価されました。賞金の40万円（別途、支部奨励賞5万円受賞済）の使い道について、「これで、これからも優れた講師を招聘できます！」と笑顔で語ってくれた野田氏の姿が印象的でした。

また、同賞に支部推薦していた他の2編、学校部門：石川県立輪島高等学校（校長：平野敏氏）の『未来の輪島を創造していく担い手を育成する「WAJI活（輪島活性化プロジェクト）」～輪高生（りんこうせい）による街づくりプロジェクト（街プロ）～』および、個人部門：金沢市立富樫小学校教諭・永井重輝氏の『自ら学び、つながりの中で高め合う姿があふれる理科授業を目指して～児童の「問い」と「見方・考え方」に着目して～』が全国奨励賞を受賞。それぞれ、学校部門として賞金10万円（別途、支部奨励賞5万円受賞済）、個人部門として賞金5万円（別途、支部奨励賞3万円受賞済）を添えて、当該校にて表彰状を授与させていただきました。今後ますますのご活躍を心からお祈りしています。

なお、これらの論文は全て、当支部HP「申請書その他ダウンロード」にアップロードして、絶賛公開中です！是非一度ご覧下さい！皆さんと同じ「いしかわのセンセ」の実践記録、A4サイズ4ページの論文です。さあ！次はあなたの出番です！質・量ともに、前年度を上回る応募、心よりお待ちしております！日教弘石川支部は皆さんの日常の教育実践を応援しています！

▲ 輪島高・平野氏へ表彰状授与（創立100周年祈念碑前にて）

▲ 富樫小・永井氏へ表彰状授与（富樫小校長室にて）

（公益財団法人）日本教育公務員弘済会石川支部ならびに（株式会社）石川教弘の令和７年度役職員・参事からの自己紹介or決意表明です！今年度もよろしくお願いいたします！

ゴールデンウィークも終わり、こどもたちはもちろん、先生方や学校も少し落ち着きを見せつつある頃かと思います。どのような団体・組織にとっても、人の入れ替わりは無くてはならぬものです。私たちの組織においても、今年度、異動がございましたのでお知らせいたします。

まず、（公財）日教弘石川支部の専任幹事、昨年度の井波充洋の後任として、元内灘町立清湖小学校校長・前内灘町教育センター所長の茶谷昭が着任しております。また、（株）石川教弘の代表取締役、昨年度の寺西一栄の後任として、元かほく市立宇ノ気小学校校長・前石川県教員総合研修センター指導員の柴田勝俊が着任しております。

さらに、みなさんの学校を訪問する、今年度の弘済会「参事」ですが、加賀・小松地区担当の中出敏彦、能登地区担当の内田恒平、金沢地区担当の細川章、白山地区担当の塩栗与嗣男、高等学校担当の内村博和の5名に加え、昨年度の寺本弓子に替わり、金沢地区担当として大浦正が加わりました。全員が学校長や事務長経験者であり、石川の教育に情熱を注いでこられた方々ばかりです。「教弘保険」を引き受けてくれているジブラルタ生命の学校担当LC（ライフプラン・コンサルタント）とともに、みなさんの学校を訪問する際には、引き続き温かくお迎えいただければ幸いです。

奥能登の桜に思うこと
～"Not forget NOTO!!" again～

（公益財団法人）日本教育公務員弘済会
石川支部　支部長　堀　義明

こんにちは。金沢錦丘高校校長を最後に定年退職、その後2年間、当支部にて専任幹事を務め、昨年から支部長に就任、2年目を迎えました。もう教員ではありませんが、石川県全域の学校活動を支援し、下支えするこの仕事に誇りを感じています。これからも与えられた予算の中で、できるだけ多くの学校・教員・こどもたちのサポートにあたります。（公財）日教弘石川支部ならびにジブラルタ生命保険会社の「教弘保険」学校担当者（LC）の活動に対し、これからもご理解・ご協力のほどよろしくお願いし、あいさつに代えさせて頂きます。

また、今年度も"Not forget NOTO!!"を合い言葉に、日教弘石川支部一同、業務に邁進して参ります。奥能登の現状はもちろん、各地の先生やこどもたちの様子について、美味しいお店情報も交えながら、広報紙作りに努めて参ります。どうぞ、ご期待下さい！

今回お届けするのは、4月上旬に訪問した、能登町立小木小学校の倉見校長先生からの2枚。小高い坂を上りきると、満開の桜がお出迎え！見下ろす眼下に校庭をぐるりと囲んだ桜の輪！その向こうには日本海が！お見事です。

校舎内では、9人の新入生が、5・6年生のお兄ちゃんお姉ちゃんに、縦割りで掃除の仕方を習っている姿。おもわずほっこり。映画「小学校～それは小さな社会～」で描かれていた、『私たちは、いつどうやって日本人になったのか？』への答え。まさにそのスタートをかいま見た瞬間でした。桜は常に、そのそばになくてはならないものとして、そこに存在しています。日本人は、ずっと昔から、そして、ずっとこれからも日本人です。桜が常に桜であるように。今こそ、日本の小学校教育を再評価すべき時。それは、未来の日本を考えることにつながるのだと思います。小木小の満開の桜から、そんなことを考えさせられました。

能登町立小木小学校3階からの絶景！
写真では伝わりきらないのですが、遠くに立山連峰も！

新任ご挨拶

公益財団法人　日本教育公務員弘済会
石川支部　㊐専任幹事　茶谷　昭

はじめまして、茶谷昭（ちゃだにあきら）と申します。この4月より、弘済会石川支部専任幹事を務めることになりました。教育振興事業（奨学事業・教育研究助成事業・教育文化事業）を中心に担当しながら、「最終受益者は子どもたち」という目的のもとに精進していきたいと思います。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、私は令和4年3月に内灘町立清湖小学校長を最後に定年退職した後、内灘町教育センター所長として3年間勤務いたしました。不登校児童生徒への教育支援、保護者等を対象とした教育相談、町内小中学校教職員の研修などに携わってきました。

その間は、「ちむどんどん」「舞いあがれ！」「らんまん」「ブギウギ」「虎に翼」「おむすび」と、NHK連続テレビ小説を見ることが毎朝の日課でした。それぞれの番組に対する世間の評価は賛否両論あったようですが、「はて？」私は、どの登場人物の考え方や生き方にも感動していました。喜んだり、笑ったり、涙したりしながら、元気をもらって通勤しました。

現在放映中の「あんぱん」では、悲しみに落ち込んでいた人たちが、ヤムおじさん（ジャムおじさん？）のつくる、ほかほかのあんぱんを食べて、生きる力をもらうシーンがありました。弘済会でも、いろいろな事業を通して学校とつながり、子どもたちや先生方に夢や希望を与えられるような仕事ができればいいなあと感じています。元気100倍！！

教職員の方々を、学校現場を、応援しています！ ～ご挨拶にかえて～

株式会社 石川教弘
㊐代表取締役　柴田　勝俊

この4月から、㈱石川教弘の代表取締役に就任しました柴田と申します。かほく市立宇ノ気小学校長で定年退職した後、3年間石川県教員総合研修センターに指導員として勤務し、悩みや課題を抱える先生方のサポートや研修に携わってきました。その悩み等は、指導面や人間関係に関すること、激変した生活環境に関することなど、多岐にわたっていました。

そのような様々な悩み等を抱えながらも、教職員の方々は子どもたちのために日々真摯に業務に取り組まれています。その現状を知るにつけ、「教職員の皆さんを応援したい！」「学校を支えたい！」という思いを新たにしてきたところです。

（株）石川教弘は『教職員の福祉の向上』を図ることを目的としていますが、これはまさに教職員の皆様方を応援するためのものであるといえます。（公財）日教弘石川支部と連携をしまして、今年度も支部の行う教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）のさらなる充実を図ってまいります。そのためにも、学校ごとの事業説明会をぜひ開催させていただき、教職員の皆様方に弘済会の事業をご理解いただき、（株）石川教弘としての業務推進に努めてまいりたいと考えております。

皆様方には、今後なお一層のご理解とご支援をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

＜日本の教育界に貢献＞

公益財団法人日本教育公務員弘済会（略称 日教弘）の教育振興事業（奨学事業、教育研究助成事業、教育文化事業）及び福祉事業は、教弘保険の契約者配当金により運営されており、日本の教育界に貢献しています。

参事、はせ参じます！

中出敏彦 参事
（加賀・小松地区 担当）

加賀・小松担当の中出敏彦です。
平成30年3月に、加賀市立錦城小学校長を定年退職し、同年4月より参事の仕事をさせていただいております。参事8年目です。初任研の指導教員のように、直接教育に携わる仕事より、学校や先生方を側面から支援する弘済会の仕事に意義を見出しております。今後とも宜しくお願い致します。

内田恒平 参事
（能登地区 担当）

能登担当参事　内田恒平です。
早いもので参事を引き受けさせていただいて6年たちました。退職後は学校とは疎遠になるものですが、この仕事のおかげで学校を訪問するたびに現職の時が懐かしく思い起こされます。特に、子ども達の元気の良い挨拶には気持ちが最高に晴れ晴れします。そんな子ども達のために弘済会の一人として学校にとってプラスとなるよう務めていきたいと思います。今年度もよろしくお願いします。

細川 章 参事
（金沢地区 担当）

金沢地区担当の細川です。退職して丸8年が経ち、学校を訪問しても存じ上げる先生が少なくなりつつありますが、昔ご一緒した先生方にお会いすると懐かしさとともに、一緒に苦労したこと等が思い出されます。今年も弘済会の事業を通して学校や先生方そして子ども達のお役に立てればと願っています。よろしくお願いいたします。

塩栗 与嗣男 参事
（白山地区 担当）

こんにちは。
白山地区担当の塩栗　与嗣男です。
教育弘済会事業の紹介のため、ジブラルタ生命のLCの方と学校をお伺いいたします。よく知った顔、長い間会えなかった方、初めてお目にかかる方、それぞれ楽しみしています。その中で各学校、教職員のみなさん、児童・生徒のみなさんそれぞれの活動に対して何を協力できるか、話し合っていきたいと考えています。今年もよろしくお願いします。

内村博和 参事
（高等学校 担当）

こんにちは！県立学校・高校担当の内村と申します。私はずっと工業高校で工業の科目を担当しました。生徒には技術はもちろん、挨拶や礼儀等の大切さを教えてきました。宴席では先輩方から授業、生活指導、部活動の大切さを学びました。学校訪問の際には弘済会の事業説明だけでなく、仕事のすばらしさを共感したいです。そして先生方や生徒のより良い環境作りにお手伝いできたら最高です。

大浦 正 参事
（金沢地区 担当）

金沢地区担当参事、大浦　正です。中学校で勤務していた時は理科を担当し環境教育に興味を持っていました。部活動はバドミントン部を担当し，県体出場を目指すチームをお世話させていただきました。退職して長い年月が経ちましたが、弘済会の事業を通して学校や先生方のお力になれればと考えています。よろしくお願いいたします。